

## 【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	東北財務局長
【提出日】	2020年3月18日
【会社名】	株式会社倉元製作所
【英訳名】	KURAMOTO CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 鈴木 聡
【本店の所在の場所】	宮城県栗原市若柳武鎗字花水前1番地1
【電話番号】	0228(32)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理部長 関根 紀幸
【最寄りの連絡場所】	宮城県栗原市若柳武鎗字花水前1番地1
【電話番号】	0228(32)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理部長 関根 紀幸
【届出の対象とした募集有価証券の種類】	普通株式
【届出の対象とした募集金額】	その他の者に対する割当 700,000,000円
【安定操作に関する事項】	該当事項はありません。
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2020年3月13日に提出いたしました有価証券届出書の記載事項の一部に訂正すべき箇所および添付書類の取締役会議事録の記載内容を訂正する必要が生じたので、これらを訂正するため、有価証券届出書の訂正届出書を提出するものであります。

## 2【訂正事項】

第一部 証券情報

第1 募集要項

4 新規発行による手取金の使途

第3 第三者割当の場合の特記事項

1 割当予定先の状況

添付書類 取締役会議事録

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_を付して表示しております。

## 第一部【証券情報】

### 第1【募集要項】

#### 4【新規発行による手取金の使途】

(訂正前)

(1)【新規発行による手取金の額】

(中略)

(2)【手取金の使途】

資金調達の目的

(中略)

(スポンサー契約の主な内容)

(中略)

d. 役員の派遣及び当社の従前の役員

・ニューセンチュリー有限責任事業組合は、当社に対し、代表取締役として時慧氏(ニューセンチュリーキャピタル株式会社代表取締役)、取締役として小峰衛氏(インターバルテクノロジー株式会社代表取締役、~~株~~DGテクノロジー(旧商号: ~~株~~大湘技研)元代表取締役)、宮澤浩二氏(株式会社DGテクノロジー技術顧問)及び呉征瑜氏(深圳~~FA~~康医~~57~~~~88~~~~59~~股份有限公司CEO)を役員として派遣することとし、当社は本定時株主総会において上記4名を取締役に選任した上で、その直後の開催する取締役会において以下のとおり代表取締役を選定するものとする。

(後略)

(訂正後)

(1)【新規発行による手取金の額】

(中略)

(2)【手取金の使途】

資金調達の目的

(中略)

(スポンサー契約の主な内容)

(中略)

d. 役員の派遣及び当社の従前の役員

・ニューセンチュリー有限責任事業組合は、当社に対し、代表取締役として時慧氏(ニューセンチュリーキャピタル株式会社代表取締役)、取締役として小峰衛氏(インターバルテクノロジー株式会社代表取締役、~~株~~株式会社DGテクノロジー(旧商号: ~~株~~株式会社大湘技研)元代表取締役)、宮澤浩二氏(株式会社DGテクノロジー技術顧問)及び呉征瑜氏(深圳~~FA~~康医~~57~~~~88~~~~59~~股份有限公司CEO)を役員として派遣することとし、当社は本定時株主総会において上記4名を取締役に選任した上で、その直後の開催する取締役会において以下のとおり代表取締役を選定するものとする。

(後略)

### 第3【第三者割当の場合の特記事項】

#### 1【割当予定先の状況】

(訂正前)

##### (1) 本株式について

割当予定先の概要

(中略)

注1. 出資の総額は本届出書の提出日である2020年3月13日現在の内容です。出資の総額については払込日である2020年4月7日までに7億円となる予定です。

2. 出資者・出資比率・出資者の概要は2020年3月13日現在の内容です。今後、出資者として呉征瑜氏が5,000万円、李宇氏が6億3,000万円を同有限責任事業組合に対して出資するとともに、ニューセンチュリーキャピタル株式会社が800万円、光博有限公司が200万円を追加出資する予定であり、これにより、払込日時点における同有限責任事業組合に対する出資比率は、ニューセンチュリーキャピタル株式会社が1.43%、光博有限公司が1.43%、呉征瑜氏が7.14%、李宇氏が90.00%となる予定です。当該出資者および出資比率につきましては、変更が生じ次第適時に開示いたします。

提出者と割当予定先及び業務統括組合員との間の関係

(中略)

割当予定先の選定理由

(中略)

このようなことから、当社は、2019年9月から11月にかけて、スポンサー候補先の探索をより一層本格化させ、当社の取引先関係者、代表者鈴木聡をはじめとする当社役員の知人、知人の紹介者など、複数の候補先に支援を打診し面談等を行いました。そうしたところ、2019年11月下旬に、当社の取引先関係者より、M & Aを専門とする中国法弁護士である袁少穎氏をご紹介いただきました。さらに2019年12月中旬には、袁少穎氏より、ニューセンチュリーキャピタル株式会社の代表取締役である時慧氏をご紹介いただきました。時慧氏からは、中華人民共和国の法人であるNovocare社のCEOである呉征瑜氏をご紹介いただくとともに、同有限公司と当社の業務提携並びにニューセンチュリーキャピタル株式会社、同有限公司及び他の共同支援者の共同による当社の事業再生をご提案いただき、当社が事業再生ADR手続による金融支援を受けること及び当社が上場を維持することを前提に、ファンドによる普通株式の引受、アドバイザー関与による経営支援などを内容とする意向表明書の提出を受けました。

当社としては、事業再生ADR手続を活用してお取引金融機関様から金融支援を受けて上場を維持し、同社及びその共同支援者から資本支援を受けることが、窮境に陥った当社の財務体質の抜本的な改善を図り当社事業を再生して事業価値を維持向上させるといった目的に合致する最善の手段であると判断し、2019年12月25日、事業再生実務家協会に対し、事業再生ADR手続の利用の正式申請を行い、同日受理されました。

その後、当社代表者鈴木聡が、2020年1月上旬に、ニューセンチュリーキャピタル株式会社の時慧氏の紹介したNovocare社を訪問し、呉征瑜氏及びその知人である李宇氏(深圳98166175子股份有限公司(Shenzhen Sunlord Electronics Co.,Ltd)副総裁)(以下「Sunlord社」といいます。))と面談しました。面談では、呉征瑜氏より、Novocare社が日本を含む世界市場に向けて同有限公司の開発した持続的生活管理パッケージとしての測定機器(主に高齢者、障害者、長期ケアが必要な方の生活管理に用いる測定機器)の販売展開を目指しており、日本市場への進出に当たり、製造販売等を円滑に進めることのできる日本の上場企業との提携を望んでいることなどの説明を受けました。これに対して当社代表者の鈴木聡からは、Novocare社より当社が測定機器・測定機器の部品を調達し、当社の製造工場での製造や組立てを行えば、日本市場に最適化された仕様の測定機器を市場投入することができること、また当社の有する技術を今後の測定機器の開発に生かすことができることなどを説明いたしました。

その後、当社代表者の鈴木聡及び時慧氏は2020年1月から2月にかけて協議を重ねるとともに、2020年2月上旬には、呉征瑜氏が当社の工場を視察して、当社にNovocare社の開発した測定機器を製造する各種設備機器があること、当社の技術が測定機器の性能・耐久性を向上させる製品改良に有用であることを確認しました。李宇氏からは、時慧氏を通じ、当社とNovocare社とが連携して同有限公司の開発した製品が日本市場そして世界市場に展開することにより、当社株式の価値が高まること、また、当社技術のSunlord社への展開や中国市場展開にも関心があり、それにより当社への投資に関心があるとの説明を口頭で受けました。なお、Sunlord社との事業展開は、現時点において具体的な事業計画として定まっておらず、再生計画の前提にはなっていないため、再生計画には含まれておりません。

(中略)

これに対し、ニューセンチュリーキャピタル株式会社の時慧氏からは、事業再生ADR手続のスケジュールが極めて逼迫していることに鑑みると、中国法人であるNovocare社自身が日本のファンド(有限責任事業組合)を通じて当社に出資することは、中国の為替管理制度上の制限などから、スケジュールどおり出資実現に不透明感が残るため、まずは同社との業務提携を行って同社による事業面でのスポンサーを受けながら、資本提携については引き続き両社間で継続検討することが望ましいとの説明が口頭でありました。また、時慧氏からは、その余の資金支援先の候補について、呉征瑜氏は、Novocare社から5,000万円を借り受けて、同額の出資を行う予定であること、李宇氏は、自らの保有するSunlord社の株式を2020年3月30日開催予定の当社定時株主総会における本第三者割当増資の決議後にブロックトレード(市場外取引)により速やかに売却し、6億3,000万円の出資にかかる資金を確保する行う予定であること、光博有限公司は、自らの保有する投資有価証券(匿名組合出資持分)を他の匿名組合出資者である株式会社永輝商事(東京都品川区大井1-23-1カクタビル7F 代表取締役社長富士靖史)に売却して1,000万円の出資を行う予定であること、ニューセンチュリーキャピタル株式会社は、自己資金を用いて1,000万円の出資を行う予定であることの説明を受けました。また、これと合わせて、光博有限公司からは、自らの保有する投資有価証券(匿名組合出資持分)の売却代金が、当社に対する資本支援の総額である7億円を大きく上回る見込みであるため、万が一、呉征瑜氏及び李宇氏の出資が本第三者割当増資の払込に向けたスケジュールに間に合わない場合には、当該投資有価証券(匿名組合出資持分)の売却代金をもって、自己の出資額に加えて、呉征瑜氏の出資額及び李宇氏の出資額を両氏に代わって出資することが可能であるとの説明を受けました。なお、李氏の保有するSunlord社の株式については、現時点では売却先が決定されておらず、払込期日までに売却取引が成立しなかった場合には、本第三者割当増資は実現しないリスクがあります。

(中略)

割り当てようとする株式の数

(中略)

株券等の保有方針

(中略)

払込みに要する資金等の状況

(中略)

また、呉征瑜氏については、ニューセンチュリーキャピタル株式会社の時慧氏を通じ、本届出書の提出日である2020年3月13日の時点ではニューセンチュリー有限責任事業組合に対する出資予定額である5,000万円の現金を有していないものの、Novocare社から5,000万円を借り入れ、払込日である2020年4月7日までにニューセンチュリー有限責任事業組合に出資するとの説明を受けております。その裏付けを確認するため、Novocare社の呉征瑜氏に対する貸付意向書の写し及び同社の直近の決算報告書を受領し、呉征瑜氏がNovocare社からの借入により5,000万円を調達できる見込みであることを確認しました。

李宇氏については、時慧氏を通じ、本届出書の提出日である2020年3月13日の時点ではニューセンチュリー有限責任事業組合に対する出資予定額である6億3,000万円の現金を有していないものの、同氏がSunlord社の株式を4,458,900株保有しており、当該株式を2020年3月30日開催予定の当社定時株主総会の開催後にブロックトレード(市場外取引)により速やかに売却して6億3,000万円の出資にかかる資金を確保し、払込日である2020年4月7日までにニューセンチュリー有限責任事業組合に出資するとの説明を受けております。当社は、その説明の裏付けを確認するため、情報サービス会社より、公開されているSunlord社の株主一覧を取得し、同氏がSunlord社の株式を4,458,900株保有していることを確認するとともに、同社株式の本届出書の提出日の前日である2020年3月12日の終値が23.30人民元であり、同氏の保有する当該株式が、出資予定額である6億3,000万円を超えていることを確認致しました。

光博有限公司については、払込日である2020年4月7日までに投資有価証券(匿名組合出資持分)を株式会社永輝商事に売却し、売却代金の一部である1,000万円を払込日である2020年4月7日までにニューセンチュリー有限責任事業組合に出資するとの説明を受けております。また、上記投資有価証券(匿名組合出資持分)の売却代金は、当社に対する資本支援の総額である7億円を大きく超える見込みであるため、呉征瑜氏及び李宇氏の出資が本第三者割当増資の払込に向けたスケジュールに間に合わない場合には、当該投資有価証券(匿名組合出資持分)の売却代金の一部をもって、自己の出資額に加えて、呉征瑜氏の出資額及び李宇氏の出資額を両氏に代わって出資するとの説明を受けております。当社は、その説明の裏付けを確認するため、光博有限公司から株式会社永輝商事との間の投資有価証券(匿名組合出資持分)の譲渡契約書の写し、及び、国内大手金融機関の株式会社永輝商事に対する上記投資有価証券(匿名組合出資持分)の取得資金を資金用途とする融資契約書の写しを受領して、光博有限公司と株式会社永輝商事との間に上記投資有価証券(匿名組合出資持分)の譲渡契約が締結されておりその譲渡実行日が2020年3月16日とされていること、株式会社永輝商事が当該国内大手金

融機関からの借入金によって同譲渡契約に定める代金を調達可能であること、及び上記投資有価証券(匿名組合出資持分)の譲渡代金が6億9,000万円を大きく上回る額であることを確認しました。

(中略)

割当予定先の実態

(中略)

d. 当社は、ニューセンチュリーキャピタル株式会社の代表取締役である時慧氏をご紹介いただいた袁少穎氏及び光博有限公司が有する当該投資有価証券(匿名組合出資持分)の譲渡先である株式会社永輝商事について株式会社ディークエストホールディングスに調査を依頼しました。また、光博有限公司は、払込日である2020年4月7日までに投資有価証券(匿名組合出資持分)を株式会社永輝商事に売却するとの説明を受けているところ、株式会社永輝商事は、当該投資有価証券の購入代金を国内大手金融機関からの融資により調達するとの説明を受けており、かかる事実を両者間の融資契約書の写しの提出を受けて確認しております。なお、同融資契約書には反社会的勢力の排除に関する条項があり、国内大手金融機関によって光博有限公司及び株式会社永輝商事に対する反社会的勢力との取引関係及び資本関係の調査はなされているものと思われませんが、この点について当社が直接確認をしているものではありません。これらの調査結果及び状況から、これらの調査対象者が反社会的勢力との取引関係及び資本関係を一切有していないことを確認いたしました。

(後略)

(訂正後)

(1) 本株式について

割当予定先の概要

(中略)

注1. 出資の総額は本届出書の提出日である2020年3月13日現在の内容です。出資の総額については払込日である2020年4月7日までに7億円となる予定です。

2. 出資者・出資比率・出資者の概要は2020年3月13日現在の内容です。今後、出資者として呉征瑜氏が5,000万円、李宇氏が6億3,000万円を同有限責任事業組合に対して出資するとともに、ニューセンチュリーキャピタル株式会社が800万円、光博有限公司が200万円を追加出資する予定であり、これにより、払込日時点における同有限責任事業組合に対する出資比率は、ニューセンチュリーキャピタル株式会社が1.43%、光博有限公司が1.43%、呉征瑜氏が7.14%、李宇氏が90.00%となる予定です。なお、両氏による出資が実現しない見通しとなった場合は、光博有限公司の追加出資額は6億8,200万円となる予定であり、これにより、払込日時点における同有限責任事業組合に対する出資比率は、ニューセンチュリーキャピタル株式会社が1.43%、光博有限公司が98.57%となる予定です。当該出資者および出資比率につきましては、変更が生じ次第適時に開示いたします。

提出者と割当予定先及び業務統括組合員との間の関係

(中略)

割当予定先の選定理由

(中略)

このようなことから、当社は、2019年9月から11月にかけて、スポンサー候補先の探索をより一層本格化させ、当社の取引先関係者、代表者鈴木聡をはじめとする当社役員の知人、知人の紹介者など、複数の候補先に支援を打診し面談等を行いました。そうしたところ、2019年11月下旬に、当社の取引先関係者より、M & Aを専門とする中国法弁護士である袁少穎氏をご紹介いただきました。さらに2019年12月中旬には、袁少穎氏より、ニューセンチュリーキャピタル株式会社の代表取締役である時慧氏をご紹介いただきました。時慧氏からは、当社が事業再生ADR手続による金融支援を受けること及び当社が上場を維持することを前提にファンドによる普通株式の引受、アドバイザー関与による経営支援などを内容とする意向表明書の提出を受け、その後中華人民共和国の法人であるNovocare社のCEOである呉征瑜氏をご紹介いただくとともに、同有限公司と当社の業務提携並びにニューセンチュリーキャピタル株式会社、同有限公司及び他の共同支援者の共同による当社の事業再生をご提案いただきました。

当社としては、事業再生ADR手続を活用してお取引金融機関様から金融支援を受けて上場を維持し、同社及びその共同支援者から資本支援を受けることが、窮境に陥った当社の財務体質の抜本的な改善を図り当社事業を再生して事業価値を維持向上させるという目的に合致する最善の手段であると判断し、2019年12月25日、事業再生実務家協会に対し、事業再生ADR手続の利用の正式申請を行い、同日受理されました。

その後、当社代表者鈴木聡が、2020年1月上旬に、ニューセンチュリーキャピタル株式会社の時慧氏の紹介したNovocare社を訪問し、呉征瑜氏と面談しました。面談では、呉征瑜氏より、Novocare社が日本を含む世界市場に向けて同有限公司の開発した持続的生活管理パッケージとしての測定機器(主に高齢者、障害者、長期ケアが

必要な方の生活管理に用いる測定機器)の販売展開を目指しており、日本市場への進出に当たり、製造販売等を円滑に進めることのできる日本の上場企業との提携を望んでいることなどの説明を受けました。これに対して当社代表者の鈴木聡からは、Novocare社より当社が測定機器・測定機器の部品を調達し、当社の製造工場での製造や組立てを行えば、日本市場に最適化された仕様の測定機器を市場投入することができること、また当社の有する技術を今後の測定機器の開発に生かすことができることなどを説明いたしました。

また、その面談の席には呉征瑜氏とNovocare社の株主・ビジネスパートナー数名が同席しており、呉征瑜氏の10年来の知人である李宇氏の紹介を受けました。李宇氏は、深圳98176733子股份有限公司(Shenzhen Sunlord Electronics Co.,Ltd 以下「Sunlord社」といいます。)の創業メンバーで、同社の副総裁を務めております。Sunlord社はトランスフォーマー、センサー、キャパシター、ファインセラミック、EMC関連部品、RF関連部品などを製造販売している会社で、2007年深圳取引市場に上場しております。同社の製品は、車産業、スマートフォン産業、ディスプレイ産業、新エネルギー産業など多くの産業で使われており、そのため李氏はモノづくり産業において幅広いネットワークを有しております。また、李宇氏は2018年にNovocare社の株式を配偶者名義で取得しており、その比率は1%程度と低いもののNovocare社の社業に貢献しているビジネスパートナーで、Novocare社が世界的特許を取得し非常に重要な独自開発のアルゴリズムのチップ化の支援(チップの試作やチップ製作会社の紹介など)や販売ネットワークづくりの支援を行っております。李宇氏は、当社の技術力とモノづくり力を調査し、Sunlord社との業務提携や、李宇氏のネットワークを活用しての当社技術の中国市場への展開の可能性を感じるとともに、以前から呉氏と協議していたNovocare商品の日本市場への展開においても当社に対する関心を示しており、上記の面談を経て、当社に対する理解と関心を深めることとなりました。

その後、当社代表者の鈴木聡及び時慧氏は2020年1月から2月にかけて協議を重ねるとともに、2020年2月上旬には、呉征瑜氏が当社の工場を視察して、当社にNovocare社の開発した測定機器を製造する各種設備機器があること、当社の技術が測定機器の性能・耐久性を向上させる製品改良に有用であることを確認しました。李宇氏からは、時慧氏を通じ、当社とNovocare社とが連携して同有限公司の開発した製品が日本市場そして世界市場に展開することにより、当社株式の価値が高まること、また、当社技術のSunlord社とのコラボレーションや中国市場展開にも強い関心があり、それにより当社への投資に関心があるとの説明を口頭で受けました。なお、Sunlord社との事業展開は、現時点において具体的な事業計画として定まっておらず、再生計画の前提にはなっていないため、再生計画には含まれておりません。

(中略)

これに対し、ニューセンチュリーキャピタル株式会社の時慧氏からは、事業再生ADR手続のスケジュールが極めて逼迫していることに鑑みると、中国法人であるNovocare社自身が日本のファンド(有限責任事業組合)を通じて当社に出資することは、中国の為替管理制度上の制限などから、スケジュールどおり出資実現に不透明感が残るため、まずは同社との業務提携を行って同社による事業面でのスポンサーを受けながら、資本提携については引き続き両社間で継続検討することが望ましいとの説明が口頭でありました。また、時慧氏からは、その余の資金支援先の候補について、呉征瑜氏は、自己資金もしくはNovocare社から借り受けて、5,000万円の出資を行う予定であること、李宇氏は、自らの保有するSunlord社の株式を2020年3月30日開催予定の当社定時株主総会における本第三者割当増資の決議後にブロックトレード(市場外取引)により速やかに売却し、6億3,000万円の出資にかかる資金を確保する行う予定であること、光博有限公司は、自らの保有する投資有価証券(匿名組合出資持分)を他の匿名組合出資者である株式会社永輝商事(東京都品川区大井1-23-1カクタビル7F 代表取締役社長富士靖史)に売却して1,000万円の出資を行う予定であること、ニューセンチュリーキャピタル株式会社は、自己資金を用いて1,000万円の出資を行う予定であることの説明を受けました。これは、Novocare社の日本市場展開に加え、李宇氏が当社技術のSunlord社へ展開、中国市場への展開によるビジネスチャンスに高い関心を持つとともに、豊富な資金力を考慮し、先の配分としたことも説明を受けました。また、これと合わせて、光博有限公司からは、自らの保有する投資有価証券(匿名組合出資持分)の売却代金が、当社に対する資本支援の総額である7億円を大きく上回る見込みであるため、万が一、呉征瑜氏及び李宇氏の出資が本第三者割当増資の払込に向けたスケジュールに間に合わない場合には、当該投資有価証券(匿名組合出資持分)の売却代金をもって、自己の出資額に加えて、呉征瑜氏の出資額及び李宇氏の出資額を両氏に代わって出資することが可能であるとの説明を受けました。なお、李宇氏の保有するSunlord社の株式については、現時点では売却先が決定されておらず、払込期日までに売却取引が成立しなかった場合には、本第三者割当増資は実現しないリスクがあります。

(中略)

割り当てようとする株式の数

（中略）

株券等の保有方針

（中略）

払込みに要する資金等の状況

（中略）

また、呉征瑜氏については、ニューセンチュリーキャピタル株式会社の時慧氏を通じ、出資予定額である5,000万円の現金を有していること、ならびにNovocare社から5,000万円を借り入れる意向があることを確認しており、払込日である2020年4月7日までにニューセンチュリー有限責任事業組合に出資するとの説明を受けております。その裏付けを確認するため、呉征瑜氏の預金を確認するとともにNovocare社の呉征瑜氏に対する貸付意向書の写し及び同社の直近の決算報告書を受領し、呉征瑜氏がNovocare社からの借入により5,000万円を調達できる見込みであることを確認しました。

李宇氏については、時慧氏を通じ、本届出書の提出日である2020年3月13日の時点ではニューセンチュリー有限責任事業組合に対する出資予定額である6億3,000万円の現金を有していないものの、同氏がSunlord社の株式を4,130,000株保有しており、当該株式を2020年3月30日開催予定の当社定時株主総会の開催後にブロックトレード（市場外取引）により速やかに売却して6億3,000万円の出資にかかる資金を確保し、払込日である2020年4月7日までにニューセンチュリー有限責任事業組合に出資するとの説明を受けております。当社は、その説明の裏付けを確認するため、李宇氏の証券口座明細の情報を取得し、同氏がSunlord社の株式を4,130,000株保有していることを確認するとともに、同社株式の本届出書の提出日である2020年3月13日の終値が22.90人民元であり、同氏の保有する当該株式が、出資予定額である6億3,000万円を超えていることを確認致しました。

光博有限公司については、払込日である2020年4月7日までに投資有価証券（匿名組合出資持分）を株式会社永輝商事に売却し、売却代金の一部である1,000万円を払込日である2020年4月7日までにニューセンチュリー有限責任事業組合に出資するとの説明を受けております。また、上記投資有価証券（匿名組合出資持分）の売却代金は、当社に対する資本支援の総額である7億円を大きく超える見込みであるため、呉征瑜氏及び李宇氏の出資が本第三者割当増資の払込に向けたスケジュールに間に合わない場合には、当該投資有価証券（匿名組合出資持分）の売却代金の一部をもって、自己の出資額に加えて、呉征瑜氏の出資額及び李宇氏の出資額を両氏に代わって出資するとの説明を受けております。当社は、その説明の裏付けを確認するため、光博有限公司から株式会社永輝商事との間の投資有価証券（匿名組合出資持分）の譲渡契約書の写し、及び、国内大手金融機関の株式会社永輝商事に対する上記投資有価証券（匿名組合出資持分）の取得資金を資金用途とする融資契約書写しを受領して、光博有限公司と株式会社永輝商事との間に上記投資有価証券（匿名組合出資持分）の譲渡契約が締結されておりその譲渡実行日が2020年3月16日とされていること、株式会社永輝商事が当該国内大手金融機関からの借入金によって同譲渡契約に定める代金を調達可能であること、及び上記投資有価証券（匿名組合出資持分）の譲渡代金が6億9,000万円を大きく上回る額であることを確認しました。

（中略）

割当予定先の実態

（中略）

d. 当社は、ニューセンチュリーキャピタル株式会社の代表取締役である時慧氏をご紹介いただいた袁少穎氏及び光博有限公司が有する当該投資有価証券（匿名組合出資持分）の譲渡先である株式会社永輝商事について株式会社ディークエストホールディングスに調査を依頼しました。また、光博有限公司によれば、同社は払込日である2020年4月7日までに投資有価証券（匿名組合出資持分）を株式会社永輝商事に売却して払込資金を確保することであるところ、株式会社永輝商事は、当該投資有価証券の購入代金を国内大手金融機関からの融資により調達する予定であるとのことであり、当社は、かかる事実を両者間の融資契約書の写しの提出を受けて確認しており、同融資契約書には反社会的勢力の排除に関する条項があることから、国内大手金融機関によって光博有限公司及び株式会社永輝商事に対する反社会的勢力との取引関係及び資本関係の調査はなされているものと思われます。ただし、当社がこの点について直接確認をしているものではありません。これらの調査結果及び状況から、これらの調査対象者が反社会的勢力との取引関係及び資本関係を一切有していないことを確認いたしました。

（後略）



添付資料 取締役会議事録

（訂正前）

変更履歴が残っておりました。

（訂正後）

変更履歴を削除いたしました。